

中海・宍道湖ラムサール条約登録10周年記念！

～次世代へつなぐ 豊かな恵み～

＜ラムサールシンポジウムのディスカッションの風景＞

(平成27年11月3日)

「これからどんな中海・宍道湖を描きますか？」をテーマに、鳥取・島根両県知事、女優・田中律子さん、活動団体や子ども達がディスカッションを行いました。



中海と宍道湖は、平成17年11月8日、世界的に重要な湿地としてラムサール条約(※)に登録されました。

平成27年度は、登録から10年を迎え、条約の趣旨である環境保全と賢明な利用(ワイズユース)を更に推進するため、普及啓発に取り組みました。

この1年は、貴重な財産である両湖について、あらためて考える年になったのではないのでしょうか。



※ラムサール条約とは

1971年にイランのラムサールで開催された国際会議において「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択され、開催地にちなみ「ラムサール条約」と呼ばれます。現在、国内では釧路湿原、琵琶湖など全部で50ヶ所が登録されています。



宍道湖・中海ラムサール条約シンボルマーク

- 中海・宍道湖ラムサール条約登録10周年記念！
- 中海バイク&ラン
- ラムサールシンポジウム
- ラムサールフェア

- 米子水鳥公園開園20周年記念！
- スジアオノリようかん販売
- 中海の海藻類が有機肥料に！

中海バイク&ラン

平成27年10月10日（土）に、夢みなとタワー（境港市）をメイン会場として、中海の恵みグルメや景観を楽しみながら中海周辺をサイクリングまたはランニングする「中海バイク&ラン」を開催しました。

＜スタートを待つ参加者の皆さん＞

当日は、本格的なサイクリストからサイクリング初心者の子どもまで、地元を中心に約150名が集まりました。



＜中海の景観を楽しみながらサイクリング＞

中海の素晴らしい景観を楽しむことも、立派なワイズユースです。当日は天候にも恵まれ、参加者の方々は大変満足しておられました。



ラムサールシンポジウム

平成27年11月3日（火・祝）に、米子コンベンションセンターで、「ラムサールシンポジウム」を開催しました。

当日は、女優・田中律子さんのトークショーや中海・宍道湖周辺で活動する団体・子ども達からの報告などがあり、終わりに「ラムサール未来宣言」や「中海・宍道湖のテーマソング」が子ども達から発表されました。

来場者約300人の方々が「中海・宍道湖の豊かな恵みを次世代へつなぐんだ」という決意を新たにしました。



＜ラムサール未来宣言＞

子ども達が「地域の宝として次世代に引き継いでいけるよう、力を合わせて中海・宍道湖を守っていきます」と宣言しました。



＜中海・宍道湖のテーマソング発表&合唱＞

10周年を契機に制作した中海・宍道湖のテーマソング「土水空（どみそら）の歌」を、会場一体となって合唱しました。



ラムサールフェア

平成27年11月23日（月・祝）に、くびきメッセ（松江市）で、「ラムサールフェア」を開催しました。

当日は、ステージイベントを始め、体験コーナー、グルメブースなど様々なプログラムを設け、家族連れを中心とした来場者約1,200人の方々に中海・宍道湖の豊かな恵みを感じていただきました。

<ステージイベント>

松江市立忌部小学校の子ども達による「しじみソング」の歌と踊りでフェアがスタートし、ステージでは、中海・宍道湖の食材を使った料理実演&試食会、バルーンアートショーなど多彩な催しがありました。



オープニングは「しじみソング」

絵本作家・村上康成さんのワークショップでは、子ども達が、切り絵で作った「中海・宍道湖の生き物」を、両湖に見立てた画用紙に貼って作品を完成させました。



素敵な作品が完成！！

<グルメブース>

中海・宍道湖の味覚として、しじみ汁無料サービスのほか、海藻米丼ぶり、スジアオノリようかん、しじみエキス入りクレープなどの販売がありました。



グルメブース也大賑わい

<活動団体ブース・展示コーナー>

中海・宍道湖周辺で活動する団体が出展ブースでPRを行いました。

また展示コーナーでは、子ども達の学習成果を掲示するとともに、両湖の環境についてパネルや映像でわかりやすく紹介しました。

米子水鳥公園開園20周年記念！

米子水鳥公園

米子水鳥公園は、平成27年10月22日に開園20周年を迎え、記念式典を開催しました。式典では、米子南ロータリークラブ様から寄贈いただいたモニターを披露した他、記念出版の紹介や記念講演をさせていただきました。また、10年以上にわたって継続して貢献いただいている6つの団体に感謝状を贈呈しました。各団体は、実際には米子水鳥公園で20年前後の活動実績があり、これだけ多くの団体に協力いただいていることに改めて感激しました。

他にも米子水鳥公園では、ここには書ききれないほど多くの支援をいただいております。今後ともこのような市民の皆さんのご支援をうけ、さらに水鳥の棲む環境の保全に努力していきたいと思っております。



20周年記念式典



園内でメダカ採りをする子ども達

20年間の間に地域の自然に親しむ場所となってきました。



水鳥をご観察になる天皇・皇后両陛下
(平成25年5月25日)

20年間の中で、この主な出来事です。



■ (財) 中海水鳥国際交流基金財団
米子水鳥公園

〒683-0855 米子市彦名新田665

TEL (0859) 24-6139

<http://www.yonago-mizutori.com/>

本庄小学校で毎年行っているスジアオノリの養殖を通じた中海の環境学習。昨年度、子ども達から中海への思いを多くの人に『伝えたい！広げたい！』と声があがり、地域の大人達を巻き込んだスジアオノリの商品化が始まりました。

そして今年度、平成27年8月8日、ようかんを道の駅でついに発売。発売イベントには松江市産業観光部長が応援に駆け付けたり、地元TVで放映されたり多くの方にPR出来ました。

また、このスジアオノリようかん、スーシーズの活動は、今年度の生物多様性アクション大賞2015で入賞しました。ようかんを通じて、子ども達の想いをのせた中海の恵みを広げる活動は、入賞した



スジアオノリの収穫

ことにより、より多くの方に知ってもらえたのではないかと思います。



子ども達とようかんの販売

■ 認定NPO法人自然再生センター
〒690-0064 松江市天神町114
TEL (0852)21-4882
<http://www.sizen-saisei.org/>

中海の海藻類が有機肥料に！ ~水質浄化にも役立っています~

NPO法人 未来守りネットワーク

中海の干拓事業中止により中浦水門の撤去と森山堤防開削が行われ、境水道からの海水の流入が増えると、海藻類の繁殖に適した条件が整い、毎年大量の海藻類が繁殖しました。しかし、繁殖した海藻類が腐敗すると硫化水素の発生やヘドロの原因にもなってしまいます。

未来守りネットワークでは、こうした海藻類を有機肥料として活用できないか、8年以上に渡って研究と栽培試験を重ね、近年では水稻・根菜類・野菜・果樹等の生育も良く、糖度が高く害虫にも強い農産物が出来るようになりました。

た。また、海藻類を有機肥料として使うことで、栄養塩を中海の外に持ち出すため、水質浄化にも繋がっています。

平成27年の2学期からは、この「安全・安心な中海の海藻肥料」で栽培された日野町産の海藻米が境港市の学校給食米に採用され、食育と環境教育の観点から高い評価を得ています。



インターンシップ実習に訪れた大学生も藻刈りを体験

ペレット化された「ミネラル海藻」



田植え

稲刈り

体験イベント「みんなで作ろう海藻米」を日野町で開催。境港市の子ども達が参加しました。

■ NPO法人未来守りネットワーク
〒684-0004 境港市大正町38
TEL (0859)47-4330
<http://www.npo-sakimori.net/>

中海の環境活動イベント情報をホームページに掲載しています

中海・宍道湖情報館 イベント情報 ホームページアドレス <http://www.nakaumi-shinjiko.jp/calendar.html>

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所
生活環境局環境・循環推進課
鳥取県米子市靴町一丁目160
電話 (0859)31-9322
E-mail: seibuseikatsukankyo@pref.tottori.jp
Homepage: <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69208>

鳥根県環境生活部環境政策課
宍道湖・中海対策推進室
鳥根県松江市殿町1番地
電話 (0852)22-6445
E-mail: kankyo@pref.shimane.lg.jp
Homepage: http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/

記事募集

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています。詳しくは、左記連絡先に連絡していただくか、ホームページをご確認ください。なお、投稿にあたっては出来る限り電子データで投稿をお願いします。